

申込受付中

製造・生産分野の管理監督者層向けプログラム 製造プラント・工場等が稼働している中でのリスク分析手法 コース

稼働中の現場でのセキュリティリスクの把握と対策

製造・生産現場に必要なセキュリティ対策を選定するためにはリスク分析が重要です。製造・生産現場では、IT系のインフラと比べ対策実施に伴う設備の停止や設定変更が極めて困難であることを前提としなければなりません。

リスク分析手法に必要な次の知識を得ることができます。

- 工場やプラントに対するサイバー攻撃が稼働に対して与える影響を理解し、リスクを分析・評価する方法
- リスク分析を基に、工場やプラントの稼働を維持した状態でセキュリティを確保するための対策やルール作り

カリキュラム概要(予定)

- 工場におけるサイバー攻撃によるセキュリティ脅威、影響
- 影響を考慮した工場におけるサイバー攻撃のリスク分析
- 安全面のリスク分析とサイバーセキュリティによるリスク分析の整合性
- リスクを踏まえたセキュリティ対策の検討
- 工場で実施可能な情報セキュリティ対策(IT)
- 工場で実施可能な情報セキュリティ対策(物理)



想定対象者 <製造・生産部門>

- 製造プラント・工場: 保全・計装・技術・管理・運転(システム)の部署に在籍される方
 - 本社: 企画・技術の部署に在籍される方
- ※リスク分析に携わる方、将来の管理・監督者層を含む

開催期間 2020年2月3日(月)～2月7日(金) [5日間]

受講料 15万円(税込) 定員 40名 申込締切 2020年1月24日(金)17:00

開催場所 独立行政法人情報処理推進機構
東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート センターオフィス

コースの詳細やお申込みは下記サイトにアクセスしてください。

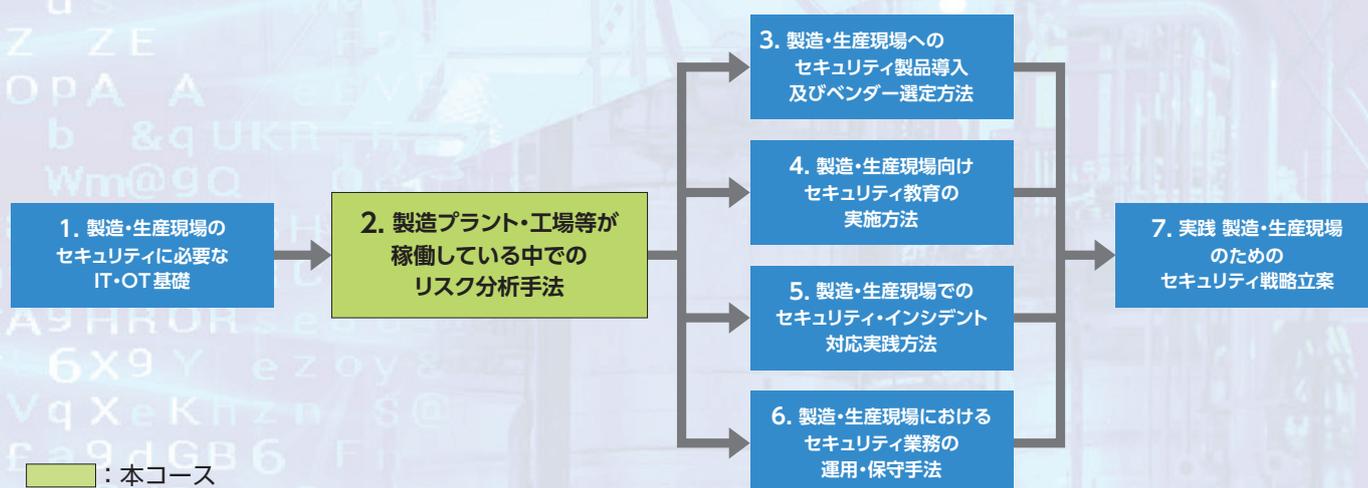
https://www.ipa.go.jp/icscocoe/program/seizo-seisan/2019_02_risk.html



プログラム実施スケジュール

No.	コース名	開催期間	申込締切
2	製造プラント・工場等が稼働している中でのリスク分析手法	2020年 2月3日(月)～ 2月7日(金) (5日間)	2020年 1月24日(金)
5	製造・生産現場でのセキュリティ・インシデント対応実践方法	2020年 1月20日(月)～ 1月24日(金) (5日間)	2019年 12月27日(金)
6	製造・生産現場におけるセキュリティ業務の運用・保守手法	2020年 2月17日(月)～ 2月20日(木) (4日間)	2020年 2月7日(金)
7	実践 製造・生産現場のためのセキュリティ戦略立案	2020年 3月3日(火)～ 3月6日(金) (4日間)	2020年 2月21日(金)

コース体系



プログラムの詳細や、他のコースのお申込みは下記サイトにアクセスしてください。

<https://www.ipa.go.jp/icscoe/program/seizo-seisan/index.html>



講師プロフィール

【原田 要之助 情報セキュリティ大学院大学 客員教授(名誉教授)】

- 1979年から電信電話公社(現NTT)研究所で通信ネットワークの監視、制御システム、通信ネットワークのセキュリティアーキテクチャの研究等に從事
- その後も、情報通信総合研究所でセキュリティ監査業務に從事し、国際的な規格・標準の策定に從事
- 情報セキュリティマネジメントとガバナンス、情報セキュリティ監査とシステム監査が主な研究テーマ
- 情報セキュリティマネジメントとリスク管理に関する著書多数
- 情報セキュリティマネジメントシステムのボトムアップ手法について研究



【お問い合わせ先】 産業サイバーセキュリティセンター 事業推進部

E-mail : coe-promotion-info@ipa.go.jp Tel : 03-5978-7554



独立行政法人 情報処理推進機構
Information-technology Promotion Agency, Japan

〒113-6591 東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス